



## 1学期終業式 ～明日から夏休み～

平年よりやや早く梅雨が明けましたが、ここ数日は湿気の多い天候が続きました。朝の登校の様子を見ても、少し疲れているような表情がうかがえました。体調は大丈夫でしょうか？

さて、本日で1学期の学習が終わりました。大運動会、中総体、平和学習など、普段の活動や学校行事等を通して、それぞれ大きく成長できたところがあると思います。

終業式の講話では、次のような話をしました。

### (1) 始業式の講話の振り返り

- ・本校の目指す生徒像について
- ・二つの「しん」についての確認  
「新」新しい挑戦をしてほしい。  
「信」信頼は数字では見えないが、とても大切な力である。

### 【桜馬場中学校の目指す生徒像】

- 目標達成に向け、強い意志をもって挑戦する生徒
- ことばを大切にし、互いを認め、励まし合える生徒
- 課題を発見・解決しながら、新たな価値を創造できる生徒
- 地域の文化を誇り、ふるさとに貢献しようとする生徒

### (2) 入学式の式辞の振り返り

- ・「自ら未来を切り拓く力」「ほかの人々と協力し、とによりよい社会をつくる力」という二つの力を身に付けてほしいこと。

### (3) これからの生活をよりよくするために

- ・「命を大切にする」ことを意識してほしい。「自分のことを大切にする」ということだけでなく「周りの人を大切に思い、思いやりや優しさを持つ」ことにもつながる。

さて、本校は通知表の配付を二期制としており、通知表のない終業式となります。現在、自分がどのくらい力をつけているのか。その状況については、夏休みに実施する三者面談で確認してほしいと思います。特に3年生は、高校入試を意識し、緊張感のある休みになると思います。長期の休みを利用して、自分が得意なことや関心を持っていることに、より一層力を入れたり、やや苦手意識のある内容を改めて振り返ったりして、力を伸ばしてほしいと思います。



中央玄関に掲示されている写真を見ながら、「1学期はこんなことがあった」「この行事ではこんなことがあった」など、思い出されることがあります。

生徒の皆さんの一生懸命な姿には感動させられることが多々ありました。2学期も、様々な行事や活動の中でそのような姿を見ることを楽しみにしています。



## 7/9(木) 生徒総会

世の中では、国会や県議会、市議会等のように、話し合いを行い、その中で物事を決めるということが行われます。身近なところ言えば、地域の自治会などもその一つです。

中学校生活では生徒会がその役割を果たしており、「会員（=生徒）の自主活動のもとに、お互いに協力してよい校風を樹立し、明るく楽しい学校生活を営むことを目的」として運営されます。

去る7月9日（木）の5・6校時、年に1回の生徒総会が行われました。事前に、各学級では全校で話し合ったほうが良いと考えられる内容について協議を行いました。

この日、生徒総会で大きな議題となったのは「昼休みの体育館開放」でした。この議題に対して、各学級で話し合いを行い、賛成か反対かが取りまとめられ、さらに、全体でどうすべきかが決められていきます。

本校の生徒総会は、リモートでの協議となっているのですが、そのリモートでの実施に向けて、これまで様々な苦勞や試行錯誤が行われたと聞いています。先輩たちの努力を引き継ぎ、行われてきた生徒総会。議題は、賛成という結果で決議されました。

今後は、その実現に向けて動き出すことになります。良い方向に向けて、さらに協議を重ねていきたいですね。

生徒総会に向けて準備を重ねてきた生徒会執行部の皆さん、そして、議長団として円滑な進行に努めた3年生の 君、 さん、大変お疲れさまでした。



## 地域の祭りが行われます

伊良林まちづくり協議会主催の「伊良林校区まつり」が、7月18日（土）16時から伊良林小学校グラウンドで開催されます。本校からも、和太鼓部がオープニングの演奏を披露し、進行を生徒会放送委員会の生徒4名が務めることとなっています。また、美術部や生徒会役員、PTAの役員の方々も出店関係の業務を行う予定です。



また、10月14日（水）には若宮稲荷神社の祭りが予定されており、子ども神輿のメンバーを募集しています。1日がかりとなりますが、参加を希望する人は申し出てください。

地域の皆様方には、日ごろから様々な場面でご支援・ご協力をいただいています。生徒たちの活躍を支えていただいていることに改めて感謝申し上げますとともに、今後ともどうぞお力をいただきますようお願い申し上げます。

## ジョン万次郎を知っていますか？

歴史好きの人なら、この名前を聞いたことがあると思います。ジョン万次郎は、土佐（今の高知県）出身で、本名は中浜万次郎と言います。幕末のころに活躍した人で、2028年のNHK大河ドラマの主人公になっています。漁業で生活していた彼は、ある日、海に出た際に突然の強風に会い、船は難破。他の乗組員とともに彼は無人島で生活します。その後、その島の近くを通ったアメリカの船に助けられ、そのままアメリカで生活。のちに帰国した彼は、アメリカの黒船に乗ったペリーが来日したころに活躍することとなります。

先日、このジョン万次郎の研究をされている立山1丁目の 様から、「ジョン万次郎漂流記」が掲載されている本を5冊寄贈していただきました。万次郎は、長崎に滞在した時期もあったとのこと。「ぜひ歴史に興味を持ってほしい」「長崎とゆかりのある歴史上の人物を知ってほしい」という思いで寄贈されています。図書館に置いていきますので、ぜひ目を通してほしいと思います。